

日本最大の産業地域

TOMATOH

苫東はGXの先進地を目指します。

苫東の 利便性

苫東地域は広大な産業用地と豊かな自然環境を擁し、
陸海空の交通アクセスに恵まれた日本最大の産業地域です。

苫東地域の魅力 ― 苫東のロケーション LOCATION



総面積10,700haの広大な産業地域 陸海空の優れた「利便性」

苫小牧東部地域(苫東地域)は、苫小牧市中心部から東へ約12km、札幌市から南へ約60kmの道央地域南部に位置し、東西9km、南北12km、東京山手線内側の1.7倍に相当する総面積10,700haに及ぶ産業地域です。

地域内を高規格道路が横断、苫小牧港東港区を擁し、新千歳空港に近接した陸海空の交通の要衝です。また、地域内には3,200haの緑地が確保され、自然と調和した開発が進められています。

株式会社苫東は、ここ苫東地域において土地造成、分譲、賃貸、管理などを行っています。

空・海・陸の流通の拠点へ絶好の交通アクセス、抜群の「優位性」



苫東地域は、交通アクセスに優れた産業エリアです。新千歳空港から約17km(車で20分)に位置し、国内外の主要都市と直結しています。

また、国内貿易取扱貨物量で全国第1位を誇る苫小牧港(西港区・東港区)と隣接し、国内外への定期航路やフェリー航路が充実しています。

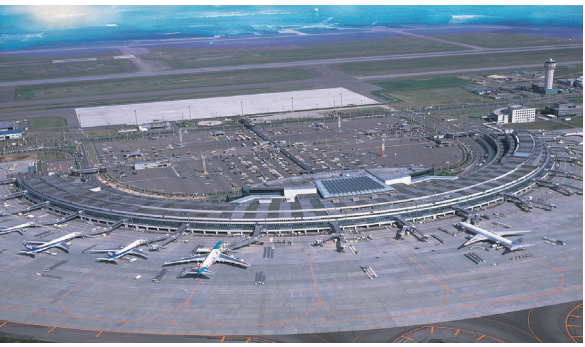
陸路では、道央自動車道の苫小牧東ICまで約8km、苫東地域内に3か所のICがあり、国道36号・234号・235号が地域内外を縦横に走っています。また、JR貨物苫小牧貨物駅へは約9kmで、全国への鉄道輸送も可能です。

これらの交通網により、苫東地域は全国および世界への物流拠点として最適な立地条件を備えています。

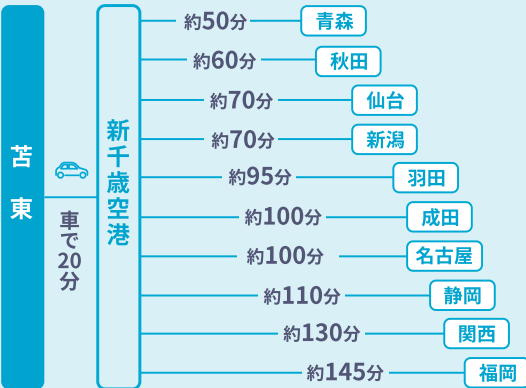
1 空路

新千歳空港まで17km 車でわずか20分

国内線は道外22都市と直結、国際線は14路線が就航しています。



■国内線(28路線) ※2025年6月現在



■国際線(14路線) ※2025年6月現在

韓国(ソウル、釜山、清州)
台湾(台北)
中国(北京(首都、大興)、西安、上海、深圳、香港)
タイ(バンコク、チェンマイ)
フィリピン(マニラ)
シンガポール

2 海路

国内貿易取り扱い貨物量全国第1位

苫小牧港(西港区・東港区)から国内定期航路・定期フェリー航路、海外定期航路が開通されています。

- 国内定期航路 ※2025年4月1日現在
釧路、八戸、釜石、仙台、常陸那珂、清水、京浜(東京、横浜、川崎、追浜、船橋)、名古屋、大阪、敦賀
- 定期フェリー航路 ※2024年4月1日現在
八戸、仙台、大洗、名古屋、秋田、新潟、敦賀
- 海外定期航路 ※2025年5月1日現在
韓国(釜山、釜山新港、蔚山、光陽)
中国(大連、青島、寧波、上海)



陸路

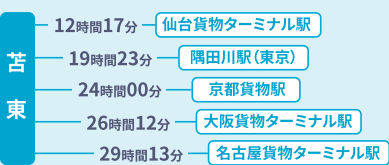
札幌まで60分 JR貨物苫小牧貨物駅へ9km

全道ネットワークの中心である道央自動車道の苫小牧東ICまで約8km。さらに苫東地域内にICが3か所あり、国道36号・234号・235号が地域内外を縦横に走るなど、全道各地への物流の玄関口ともなっています。JR貨物苫小牧貨物駅は苫東地域から西へ9kmの位置にあり、全国への鉄道輸送が可能です。

■道路



■鉄路(苫小牧貨物駅から) ※2025年3月15日現在



苦東の優位性

苦小牧市を含む道央圏には、教育機関が集中しており
優秀な人材の確保を容易に行えるほか、産業インフラも整っています。

苦東地域の魅力 — 人材・労働力・立地環境 RESOURCE

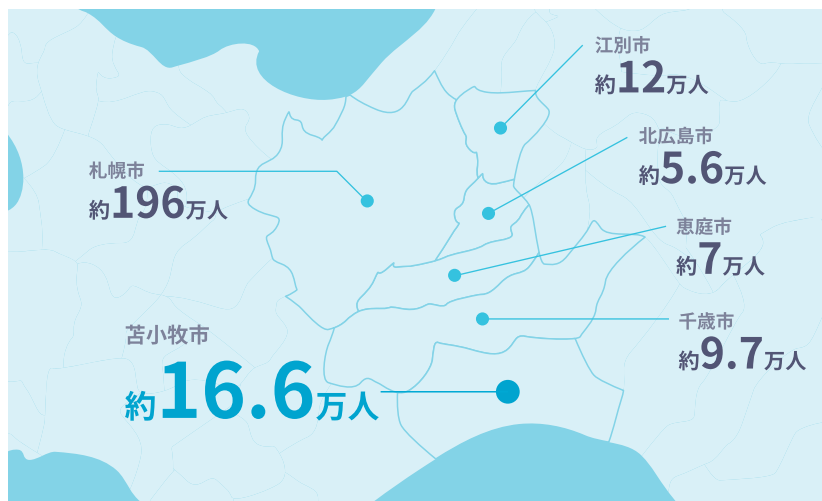
人材・労働力

人口

■ 苦小牧市

約**16.6万人**
(北海道第4位)

苦小牧市の人口は道内第4位であり、
通勤圏(苦小牧市を含む道央圏内)の人口は
約250万人となっています。



出典：北海道「令和7年 住民基本台帳人口・世帯数」

企業支援

苦東地域内にある苦小牧市テクノセンターでは、企業活動を支援するため、最先端の設備を活用した技術指導や研修を実施しています。高度な解析装置や分光光度計などの最新技術を使った教育プログラムを通じて、専門知識の習得や技術開発を促進しています。



苦小牧市テクノセンター

産業インフラについて

■ 電力・ガス

必要なエネルギーは
苦東地域内で
容易に確保



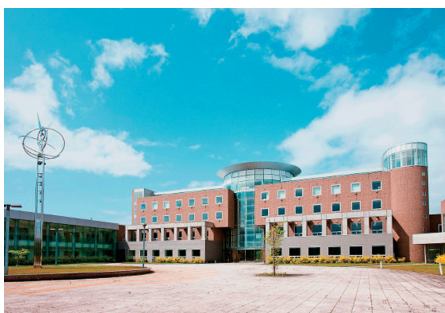
苦東地域には、北海道電力(株)の苦東厚真発電所および変電所が稼働しており、安定した電力の供給を受けることができます。さらに、石油資源開発(株)の天然ガスパイプラインが苦東地域内を通っており、バルブステーションも設置されていることから、必要なエネルギーは容易に確保されます。

3

教育機関

苦小牧地域には、小・中学校、高校をはじめ、北洋大学、苦小牧工業高等専門学校など教育機関が充実しています。

また、苦小牧市テクノセンターや苦小牧地域職業訓練センターは、技術技能の資格取得等による求職者のスキルアップや技術力向上、新技術・新製品の開発等に対する技術指導等を行っています。さらに、地元自治体ではU・Iターンを促進し、様々なサポートを行っています。



北洋大学



苦小牧工業高等専門学校



苦小牧市役所



苦小牧市美術博物館



公立千歳科学技術大学

■ 工業用水

良質な
工業用水の供給



工業用水は、北海道企業局の苦小牧地区工業用水道(第二施設)から給水を受けられます。苦東地域では、現在、電力、アルコール製造、自動車関連、石油関連、リサイクル関連など様々な分野の産業に「安心・安全・安価」な工業用水を供給しています。なお、工業排水は原則として所定の排水基準で排水管へ放流していただきます。

■ 水道

おいしい
水道水の供給



上水は、苦小牧市、厚真町および安平町から給水を受けています。苦小牧の水は、樽前山麓を源流とし、火山れき層を深く浸透しながら自然にろ過され、同時に天然のミネラル分がほどよく溶け込みます。苦小牧市は、厚生労働省の「おいしい水研究会」から、水道水のおいしい都市として全国の32都市のひとつに選ばれています。

優遇措置

諸条件がありますので、詳細は
各行政機関にご確認ください。

中小企業等経営強化法に
基づく支援措置



地域未来投資促進法に
基づく支援措置



北海道産業振興条例に基づく
企業立地の促進を図るための
助成措置の概要



苦小牧市企業立地振興
条例に基づく優遇措置



安平町企業立地促進
条例に基づく優遇措置



各種支援
制度

公益財団法人
道央産業振興財団
債務保証・高度技術
開発助成事業



株式会社
日本政策
投資銀行



苦東の居住性

苦東地域は、涼しい気温や、少ない降雪、豊かな日照などの気候条件に優れ、快適な居住性を提供する地域です。

苦東地域の魅力 ― 気候

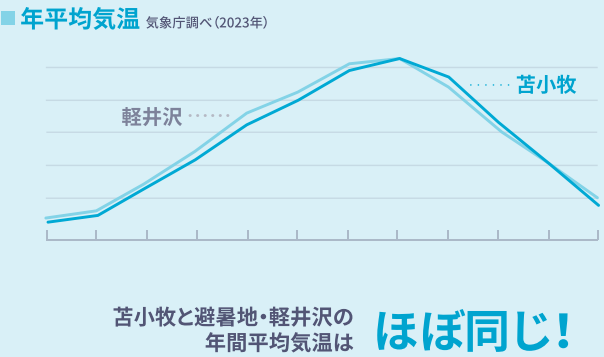
CLIMATE



夏は涼しく、雪も少ない、
太陽と緑の大地・苦東地域。

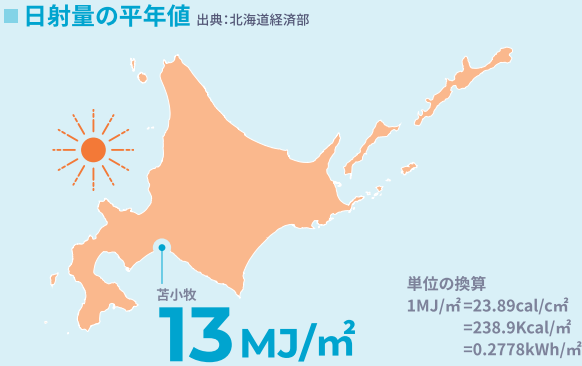
● 気温

苦小牧の8月の平均気温が20℃と涼しく、年間を通じての平均気温は避暑地軽井沢とほぼ同様です。



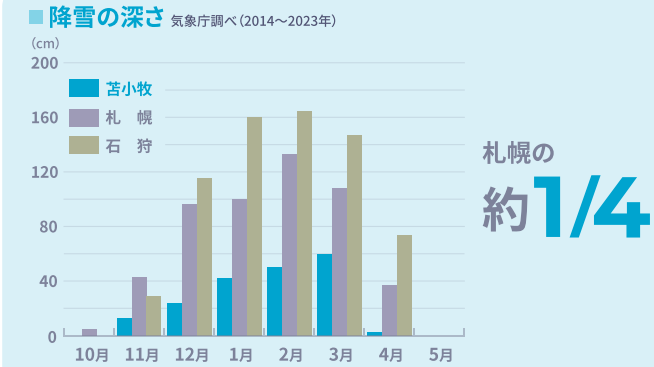
● 日射

苦小牧は日射量が豊かで、年間を通じて日照時間も安定しているため、太陽光発電や植物工場も順調に稼働しています。

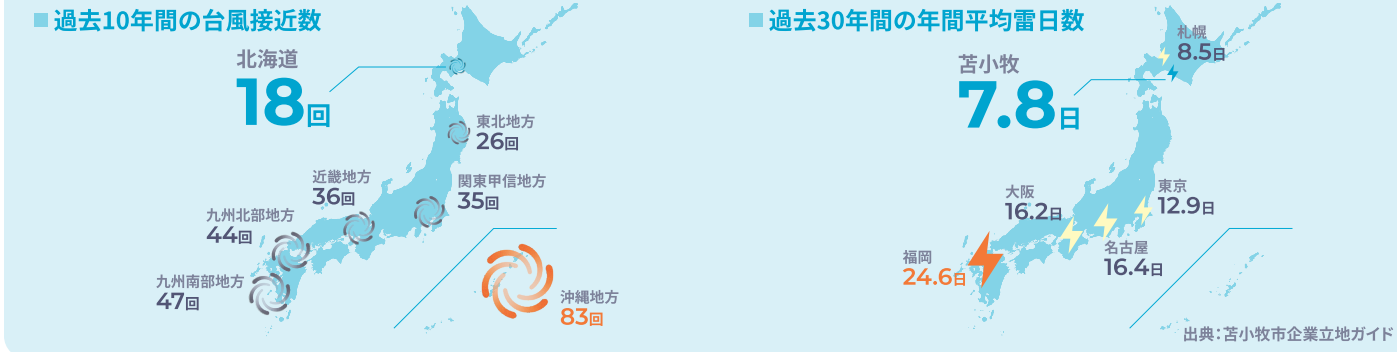


● 降雪

苦小牧の降雪深は札幌の4分の1程度と、北海道内でも降雪の少ない地域です。



● 自然災害 苦小牧は、台風の接近日数や雷日数も全国的にみて少ない環境にあります。



立地環境

● 住環境

苦東地域の近隣にはウトナイや沼ノ端などの住宅用地が広がり、通勤時間は車で5～10分程度です。また、苦東地域に隣接する厚真町や安平町では移住、定住者向けの様々なタイプの住宅が低廉な価格で分譲されています。

● 生活環境

苦小牧市内には、市立総合病院、王子総合病院など190を超える医療施設が集積。また、道内最大級のショッピングセンターをはじめ商業施設も多彩です。家族の休日には、馬とふれあえる「ノーザンホースパーク」や野鳥の楽園「ウトナイ湖」がおすすめです。



ノーザンホースパーク



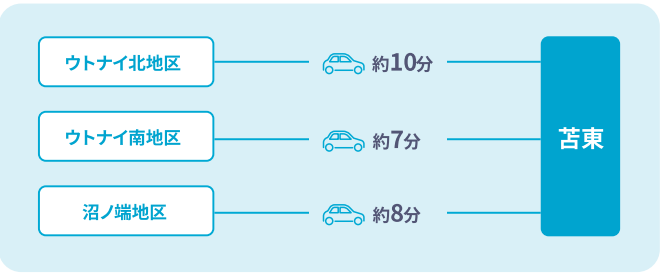
イオン苦小牧ショッピングセンター

● 自然環境

苦小牧市には、270種を超える野鳥の宝庫としてラムサール条約に指定されているウトナイ湖があります。また、世界的に珍しい三重式火山である樽前山からは、支笏湖や太平洋の雄大な景色を楽しむことができます。さらに、登山やキャンプ、ゴルフ、乗馬といったアクティビティを楽しめる場所もあり、自然と調和した暮らしを満喫することができる地域です。

● 苦東地域内の環境

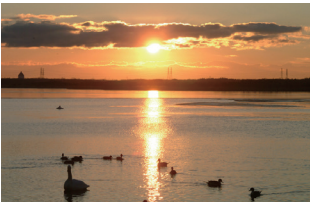
自然と共生する苦東地域は、3,200haの緑地を有しています。なかでも「つた森山林」には、多くの野鳥や小動物が生息し、春の山菜や夏のハスカップ、秋は紅葉など、四季折々の自然を観察できます。また、工場立地法の特例措置が適用され、個々の敷地内に緑地を設ける必要はありません。



苦小牧市立病院



王子総合病院



「野鳥の楽園」といわれるウトナイ湖



オートリゾート 苦小牧アルテン



樽前山



支笏湖



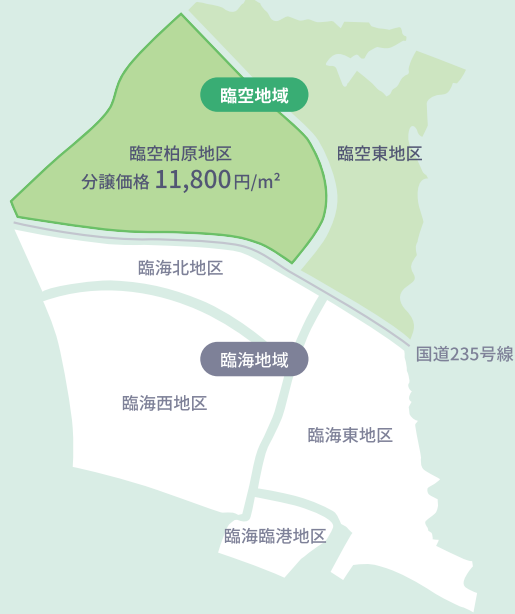
ウトナイ湖



分譲エリアのご案内

分譲用地 LAND FOR SALE

臨空地域



用途地域	工業地域・工業専用地域
建築規制	建ぺい率：敷地面積×60％ 容積率：敷地面積×200％ ※工場立地法の工業団地の特例により、敷地内に緑地を設ける必要はありません。
用水	工業用水：北海道企業局苫小牧地区工業用水道 第二施設から給水 上水道：苫小牧市の上水道が利用可能
排水	雨水・汚水分流式。工場排水については、当面は立地企業による自家処理後污水管へ放流
主要施設へのアクセス	新千歳空港：車で約20分 苫小牧港（東港）：車で約20分 苫小牧港（西港）：車で約20分

臨空柏原地区

苫東地域の丘陵地に位置し、新千歳空港ターミナルから車で20分。自動車関連産業をはじめとする製造業、食関連産業、エネルギー関連産業、物流関連産業、リサイクル関連産業など様々な企業が立地。生産・研究施設等リスク分散の最適地でもあります。



アイシン北海道 (株)



(株) ダイナックス

注目施設

苫小牧市テクノセンター

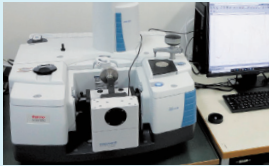


苫小牧市テクノセンター

苫東地域内にある苫小牧市テクノセンターでは企業活動の支援を目的とし、設備機器の開放、技術指導・相談・研修などを行っており、「超微細四次元X線CT解析装置」や「フーリエ変換赤外分光光度計」などの最新設備も取り揃えています。



超微細四次元X線CT解析装置
ブルカー・ジャパン (株)製



フーリエ変換赤外分光光度計 (FT-IR)
サーモフィッシャー
サイエンティフィック (株)製

臨空東地区



メガソーラー&蓄電池(苫東安平ソーラーパーク2(臨空東地区) 写真提供:㈱ユーラスエナジーホールディングス)



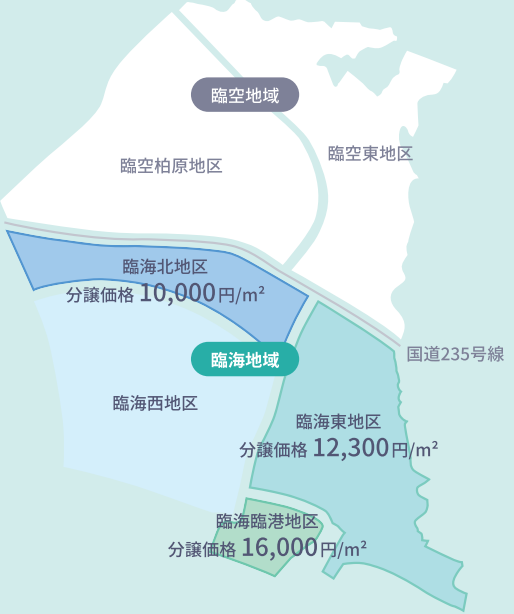
苫東地域は大きく「臨空地域(臨空柏原地区/臨空東地区)」

「臨海地域(臨海北地区/臨海西地区/臨海東地区/臨海臨港地区)」に

分かれています。



臨海地域



用途地域	工業専用地域
建築規制	建ぺい率：敷地面積×60％ 容積率：敷地面積×200％ ※工場立地法の工業団地の特例により、敷地内に緑地を設ける必要はありません。
用水	工業用水：北海道企業局苫小牧地区工業用水道 第二施設から給水 上水道：苫小牧市・厚真町の上水道が利用可能
排水	雨水・汚水分流式。工場排水については、当面は立地企業による自家処理後污水管へ放流
主要施設へのアクセス	新千歳空港：車で約30分 苫小牧港（東港）：車で約10分 苫小牧港（西港）：車で約30分

臨海北地区

日高自動車道、国道235号線、道道上厚真苫小牧線に囲まれた好適地に、自動車関連産業と研究施設が立地しています。



いすゞエンジン製造北海道(株)



いすゞエンジン製造北海道(株)

臨海東地区

大規模な石油備蓄基地が立地しています。また、循環産業拠点構想に基づく基盤整備により、リサイクル関連産業の集積が進んでおり、環境・エネルギー関連産業などに適している地区です。



苫東石油備蓄 (株)



(株) マテック



(株) サニックスエナジー



空知興産 (株)

臨海臨港地区

大型船(10万tクラス)の入出港が可能な水域と平坦で広大な後背地があり、火力発電所や物流施設などが立地しています。国際コンテナターミナルや国内フェリー航路が開設されているほか、今後、道内最大級の温度管理型冷凍冷蔵倉庫を中心とした食関連産業等の国際物流拠点としても期待されています。



苫小牧埠頭(株)
北海道クールロジスティクスプレイス(株)



オエノングループ合同酒精 (株) 苫小牧工場



北海道電力 (株) 苫東厚真発電所



苫小牧国際コンテナターミナル(株)

進出企業さまの声

苫東地域には、自動車関連産業や物流関連産業をはじめ、先進的なGXエリアの形成を実現するための牽引役となる新規立地企業などが集積しております。

未来を今に、独創性で世界に駆ける ～CNへの取り組みを加速～

(株)ダイナックス

当社は、国内外の自動車メーカーへ高品質な駆動系部品を提供しております。2050年のカーボンニュートラル達成に向け、省エネ・再エネ・創エネの取り組みを推進しており、苫東工場では、北海道内最大規模のオフサイトPPA(自家消費型)によるメガソーラー、積雪対応のカーポート型メガソーラー(両面受光パネル)、木質チップを使用したバイオマスボイラを導入しています。苫東地域は、広大な用地に加え、豊富な日射量や少ない積雪など、環境面でもカーボンニュートラル実現に適した工業団地です。



「Hokkaido Initiative」として医療機器工場を新設

(株)カネカ

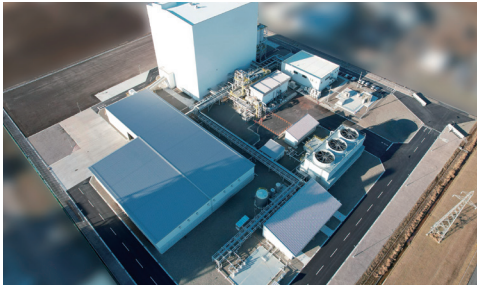
当社は、苫東地域に医療機器の工場を新設し、2024年7月に操業を開始いたしました。新工場は、製造プロセスの自動化、高度化による生産性の高い「スマートファクトリー」で、世界的に急拡大する需要に対応した事業の拡大を図っています。苫東地域への立地の決め手は、陸・海・空のアクセスの良さ、整備された各種インフラ、将来的に工場が拡張可能な広大な用地があることです。今後は、太陽電池を用いた「ゼロエネルギーファクトリー」として北海道、苫東地域からサステナブルなモノづくりを推進し、苫東工場は「カネカは世界を健康にする」というビジョンを実現していきます。



苫東地域初のバイオマス発電所を新設

苫東バイオマス発電(同)

エクシスグループは、アジア太平洋地域において再生可能エネルギー及びインフラ開発に取り組んでおり、今般、北海道電力(株)との合併事業で輸入木質ペレットを主な燃料とする50MWのバイオマス発電所を建設し、商業運転を開始いたします。木質バイオマス発電は、天候に左右されず安定的に発電することができる再生可能エネルギー電源の一つであり、当発電所の安定稼働により、国が掲げる2050年のカーボンニュートラルの実現に寄与するべく取り組んでまいります。苫東地域は、良質な港へのアクセスが良く、物流の利便性が高い工業団地であり、燃料輸入の面においても魅力的です。



苫東地域初のグリーンウイスキー蒸溜所を新設

ベンチャーグレーン(株)

当社は、埼玉県秩父市において「イチローズモルト」等の銘柄でウイスキーを造る(株)ベンチャーウイスキーの子会社です。コロナ禍による物流問題を契機に、それまで輸入に頼っていたグリーンウイスキーを自社製造するべく蒸溜所の新設を検討していました。苫東地域は、北米航路がある苫小牧港や新千歳空港に近接しているなどアクセス面で優れていることに加え、将来的な拡張に対応できる広大な用地があること、上質な水が豊富に利用できることなどを評価し、立地場所を選びました。苫小牧は冷涼ですがウイスキー熟成に必要な寒暖差があるなど気候的にも適地であり、また、将来的に道産原料を使う場合、道内の物流網が充実している点も魅力的です。



北海道における食の国際物流拠点形成を目指し始動

北海道クールロジスティクスプレイス(株)

当社は、国内有数の貨物取扱量を誇る北海道の海の玄関口である苫小牧港において多温度対応の大規模冷凍冷蔵倉庫を整備することを目的に、苫小牧埠頭株式会社を中心に2017年12月に設立されました。港湾立地型の本施設の活用により、道産食材の付加価値向上、輸出促進および物流効率向上を図るとともに苫小牧港周辺への食産業集積を目指します。苫東地域は、新千歳空港にも近く、空港と港湾の両方のポテンシャルを活用することができるエリアであり、積雪も少ないため冬期間の物流にもほとんど影響がないところが魅力です。



北海道における物流拠点 ～苫東地域から全道へ～

北星産業(株)(コメリ北海道流通センター)

当社は、ホームセンター「コメリ」の物流拠点として全国に展開しており、全国10番目となる大型流通センターを2017年に開設いたしました(2018年4月稼働)。当社が、苫東地域を物流拠点に選んだ理由は、陸・海・空の交通の要衝であることです。地理的にも北海道のへそに位置する苫東地域には、全道を跨ぐ高速道路のICが3か所、さらにはコンテナ輸送の中心である苫小牧港東港区があり、物流センターの立地には最高の環境であると思います。



「I ♥ RECYCLE®」(アイラブリサイクル) ～循環型社会の実現へ～

(株)マテック

当社は、北海道内で広く総合リサイクル業を展開しており、シュレッターダスト等からの更なる資源の回収と廃棄物の埋立量削減のため、2023年9月にシュレッターダスト資源化の新工場を開設しました。本施設では、最新の選別機械を多数導入し、高収率で金属やプラスチックなどの有価物を回収しています。苫東地域は、用地の拡張性、道内の物流拠点としてリサイクル関連産業の適地です。今後もリサイクル可能なすべての物質や廃棄物を「第3の資源」と考え、北海道の大地から積極的な資源の創造(マテリアル・クリエーション)にチャレンジし、循環型社会の実現に貢献します。



北海道での事業展開のため製造拠点を新設

(株)木村管工

当社は、昭和48年の設立以来、原子力および火力発電所の建設工事や各種プラントの配管工事等に携わってきました。この度、次世代半導体工場の建設を機に、北海道に初めて製造拠点を苫東地域に設けました。苫東地域は、半導体工場に近く、多様な産業が集積しており、本州から海上輸送する際に利用する苫小牧港への交通アクセスの良さがメリットです。今後は、地元企業とも協力しながら、半導体関連の他、エネルギー関連、GX関連など、北海道での成長が期待される分野にも活躍の場を広げていきたいと考えています。



次世代社会インフラ構想の要となる「北海道苫小牧AIデータセンター」を建設

ソフトバンク(株)

当社は、国内のデジタルインフラが集中する東京圏や大阪圏におけるデータ処理や電力消費の全国分散を目指す“次世代社会インフラ構想”の要として苫東地域に最先端の大規模計算基盤を備えたデータセンターを建設しています。再生可能エネルギーを100%利用する地産地消型のグリーンデータセンターとして運用を予定しており、生成AIの開発およびその他のAI関連事業に活用可能です。苫東地域は新千歳空港に近接しており東京からのアクセスも容易です。苫小牧は積雪が比較的少なく冷涼であることに加え、太平洋に面しており日米を結ぶ光海底ケーブルの陸揚げ局の第1候補であるなど、国際的なデータ流通拠点になるポテンシャルがあります。

